



でんしろ

No 532 1月号

平成10年1月1日発行



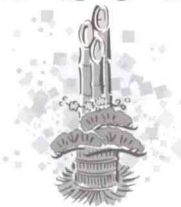
新年あけまして
おめでとうございます

平成10年 元旦

ぼく“でんしろ”です

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1



新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様をはじめ、ふるさとを遠く離れた異郷の地で暮らしの皆様方には平成十年のすがすがしい新春を元気で迎えられたことと心からお慶び申し上げます。
先ずもって、昨年十月に行われました町長選挙で初当選をさせていただきました。賜りましたご支援に対し厚くお礼を申し上げますと同時に、その後私に対する街頭宣伝活動では町民の皆様方に変えて迷惑をおかけいたしましたことを心から深くお詫び申し上げます。
今後は四期にわたる議員経験に基づき町勢発展

春 迎

町勢発展浮揚に

全力を傾注する。

田代町議会議長 瀬口 勝

皆様方に心から御見舞いを申し上げます。
いよいよ21世紀を目前にして、国の内外も大きな時代の変容を感じる年であります。今、我が国は政治改革を、とりわけ地方分権の問題、米を始めとする農畜産物の問題、景気対策など山積する課題があります。地方自治にとりましても勇気ある変革を求められている時代であります。
私達は、21世紀を見通しながら、町民の所得の向上をめざして諸施策に積極的に取り組まなくてはなりません。
特に21世紀にむけた農業に従事する人材確保の養成と、優良農地の確保等、有効利用の方策等について、各種団体とりわけ、技連会を中心として、認定農家の登録拡大に努め育成強化を図っていかねばならないと思っております。尚、過疎化の進展に歯止めをと

言うことで、あらゆる施策を講じて参っておりますが、現在本町でも、高齢化率、33%に達しており、より以上の前進的な方策の検討も必要と考えております。
御承知の通り、経済不況の中、国・県共に財政的にも、圧縮をいたして参っております。本町におきましても限られた予算の中で、議会は議会なりの研鑽に努め、田代町は田代町なりの主体制をもった豊かな地域社会実現の為の災害に強い安全なまちづくりを目指して、町勢発展浮揚に全力を傾注しなければならぬと、決意を新たにしているところでございます。
年頭に当り、皆様方の御健勝と、御多幸をお祈り申し上げます。併せて本町にとって、更なる発展の年でありますことを念じて議会を代表しての挨拶といたします。



県議会による災害現場視察



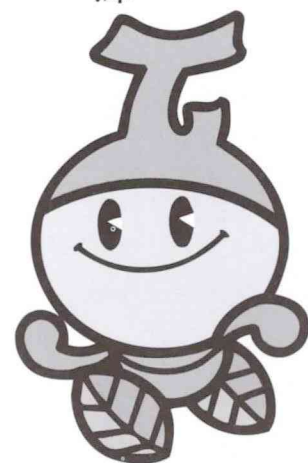
鶴園地区被災現場



待望の花瀬オートキャンプ場完成



田代観光の拠点「花瀬公園周辺」



活気に満ちた
明るい田代町を創りだす。

田代町長 前之園 良輝

のため、町民の皆様の負託に応えるべく誠心誠意全力を傾注する所存でありますので町政に対する皆様の温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
さて昨年を振り返ります時に、9月16日台風19号襲来により三名の方の尊い命が失われました。亡くなられた方に対し衷心より哀悼の意を表し謹んでご冥福をお祈り申し上げます。又台風災害では民家への土石流流入、床上浸水、耕地土木災害と大変な被害でありましたが、被害にあわれた皆様には心からお見舞い申し上げます。今後は災害に強いまちづくりを専念してまいります。
また依然として先行き不透明な経済不況の中、市町村においては地方分権の高まりと同時に財源確保がこれまでに

増して厳しい情勢となっております。私は目前に迫った二十一世紀を展望しながら、活気に満ちた明るい田代町を創りだすため、基幹産業である農林業を中心に商工業、誘致企業、地場産業の振興、高齢社会を迎え老人福祉対策の充実、若者が魅力を持ち、定住できる住み良い生活環境の整備、教育環境の整備、教職員住宅の建設等に取り組み活力と創造性に富む教育文化の振興に努めてまいります。
最後になりましたが町民の皆様にとつて本年が最良の年となりますようご祈念申し上げます。のあいさついたします。

祝 成人の決意



馬庭ノ口 司
(橋ノ口)

私がこうして無事に成人を迎えることができたのは、両親や諸先輩方のおかげだと思います。今、感謝の気持ちで一杯です。

私が成人を迎えて思うことは、大人としての自覚です。これまでは親、社会から保護されてきました。しかし、二十歳になったら、自分の行動に責任をもたなければなりません。これから色々な権利が与えられますが、それには全て責任が伴ってきます。今後は自分の行動に責任をもち、また大人としての自覚をもった人間になって行かなければと思います。

いいことなのかを見きわめられる判断力を身につけたものです。私が高校を卒業して就職してから二年がとうとじています。いざ社会に出てみると、学生時代の考えをもっていた自分の甘さ、知識のなさが身にしみて分かりました。しかし、これを良い経験とし、また、まわりの先輩方の意見にも耳を傾けて、これからの社会生活の中で役に立てて行きたいです。

私がこの世に生を受けて二十年。早いもので今年成人式を迎えることになりました。二十年という年月は長いようですが、今こうして二十歳を迎えてみると、早かったなあというのが本音です。小・中学校の義務教育を終え、高校生活を送りました。この十二年間では団体生活のきまりやむずかしさ、友達の大切さ、部活動を通して忍耐力を学び、他にも多くのことを学んできました。少人数のため人前が出る機会も多く、そういうことが苦手な私はとても憂ううつでした。今でもそういうところがあります。が、少しずつ克服していけたら幸いです。

就職して二年が過ぎようとしています。学校生活とはまた違ったことを学びました。特にこの一年で最も重要なことを学んだように思います。人間は気の持ちかた次第で変わるのだという事です。落ち込んでしまった時、冴えない気持ち、考え方をプラス思考にもっていくと自然と気分も晴れてくるものです。笑顔も増えて、印象も良いと思います。自分には欠けているものも多く学ばなければならぬことばかりです。プラスになることはどんどん参考にし、自分に自信が持てるようになった頃には、逆に参考にされる存在になれたらいいですね。

平成9年 年末年始の交通事故防止運動
(期間) 平成9年12月22日から平成10年1月10日まで
(スローガン) 「無事故で年越し、笑顔で新年」

○運動の重点
一、飲酒運転の追放
二、高齢者の交通事故防止
三、若者の交通事故防止
四、シートベルトの着用徹底

○運転者は
・運転するなら酒を飲まない。
・酒を飲んだら運転しない。
・家庭・地域では、運転する人に酒をすすめない。

○飲酒運転
平成9年は、鹿児島県本土では、大根占警察署管内のみが交通事故死亡事故「0」となっています。これは、平成4年以来、5年ぶりの事です。今年も残りわずかとなりましたが、交通事故には十分気を付けましょう。

田代町交通事故死亡事故「0」 897 日更新中
(12月1日現在)

田代町認定就農者第一号 いちごの初出荷

西中川 正月 夫妻
ルリ子

正月さんは、以前よりふるさとで農業に取り組みたい夢をもち、また、年長いた両親のことも気になり、平成八年十二月に名古屋から家族四人で田代町にUターンしてきました。

田代町農業後継者等認定就農者第一号として認定を受け、現在施設園芸(いちご30a)で経営を始めました。

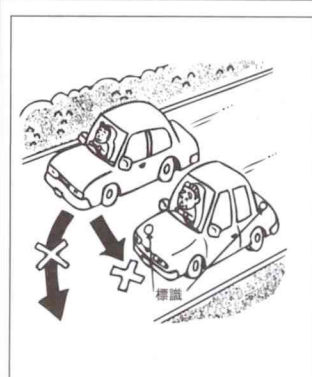


正月さんは、「関係機関からりっぱな施設を導入していただき、また、これまで技術指導・生活指導を受けながら皆さんの陰で初出荷を迎えることができました。これから認定就農者第一号として、田代町で農業をやりたい夢をもっている人達のためにも地域に貢献できる農業者をめざして一生懸命頑張ります」と力強く話をされました。

認定農業者 新規就農者 大規模担い手農業者 の皆様へ!!

(農地保有合理化促進特別事業) 担い手育成タイプ (担い手育成型)

- 〈特徴〉
あなたが県地域振興公社を通じて農地を購入されるときは、県地域振興公社が無利子資金を活用して優良農地を購入し、あなたに売却しますので、金利負担なしで、あなたは規模拡大ができます。
- 又、経営が安定するまで、一定期間農地の貸付を行い、あなたの経営計画に合わせて売却することもできるのです。
- 〈売渡の要件〉
①これから農業を始めようとする方の場合
・おおむね40歳以下であること。
・農業によって自立しようとする意欲と能力を有すること。
・権利取得後の農業経営面積が「基準面積」(注)を超えること。
(注) 基準面積は県公社が市町村ごとに作目及び経営形態別の農家の平均面積を基に定める経営面積です。
- ②大規模担い手農業者の場合
・農業経営主であって、原則として一時貸付時の年齢がおおむね50歳以下であること。
・権利取得後の農業経営面積が「目標面積」を超えること。



★ご存じですか?
●高齢運転者の保護
高齢運転者は加齢に伴う身体機能の低下により、危険を避けるためのとっさの行動をとることが困難になったり、危険の発見や回避が遅れがちになったりします。このような高齢運転者の保護を図るため、七十五歳以上の高齢運転者で、身体機能の低下により自動車の運転に影響を及ぼす恐れがあると自ら判断した場合については、普通自動車の前面及び後面に一定の標識(高齢運転者標識)を付けて普通自動車運転するよう努めなければならぬこととしました。また、周囲の運転者は、この標識を付けた自動車に幅寄せや割り込みをしてはいけません。

高齢運転者標識

届け出を忘れていませんか!!

退職者医療制度

70歳未満で退職して年金で暮らしている人のための医療制度です。

●対象となる人

以下の条件をみたしている人（退職被保険者本人）とその被扶養者が対象になります。

- ①国保に加入している
- ②老人保健法の適用を受けていない
- ③厚生年金や各種共済組合など（国民年金は除く）の老齢年金や退職年金などの受給者で、その被保険者期間が20年以上あるか、または40歳以降10年以上ある。



被扶養者とは

退職被保険者本人と生活を共にし、退職被保険者本人の収入によって生計を維持している次の人。

- ①退職被保険者本人の直系尊属、配偶者（内縁でもよい）と3親等内の親族、または配偶者の父母と子。
- ②国保の加入者で老人保健法の適用を受けていない人。

※被扶養者の届け出は世帯主が行います。



●退職被保険者となる日

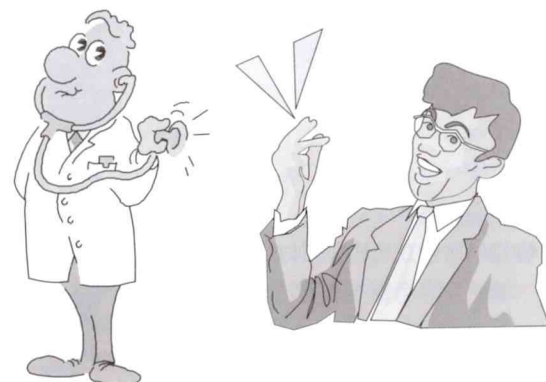
退職医療制度の加入資格は、年金受給権が発生した日から適用になります。年金証書を受け取ったら、世帯主は14日以内に国保の窓口へ届け出てください。



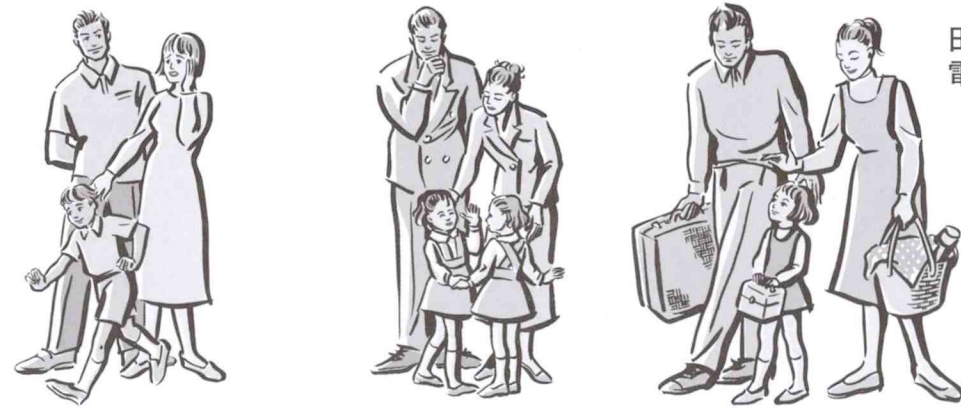
年金証書、印かん、保険証

特例療養費

もしも、退職被保険者の資格が発生してから国保の届け出をするまでにお医者さんにかかった場合は3割の一部負担金を支払います。あとで申請すると、差額の1割が支給されます。



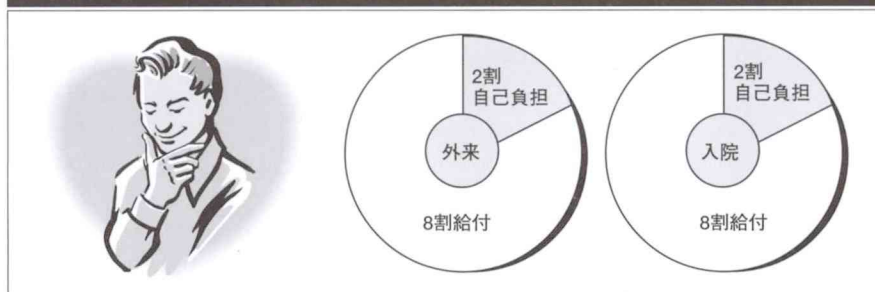
田代町国民健康保険
電話5-2511（内線135）



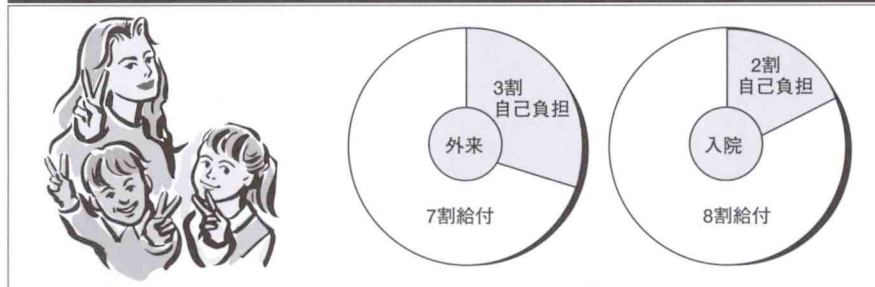
●お医者さんにかかるとき

病院などの窓口で、「国民健康保険退職被保険者証」を提示すれば診療を受けることができます。給付は以下のとおりです。

①退職被保険者（本人）



②被扶養者（家族）



※高額療養費の支給については、一般の国保の被保険者と同じです。



豆知識

歩く

1日13,000歩のウォーキング

最近、いい汗をかきましたか？体力増進、サイズダウンなど運動の目的は人それぞれですが、過度の運動はかえって体を壊してしまうことにもなりかねないので要注意。体に負担をかけず、靴などのほかに特別な道具もいらず、すぐにはじめるスポーツがウォーキングです。日常生活に取り入れることも可能で、続ければ減量を始め、骨粗鬆症、心臓病、成人病の予防にもつながる優れた運動なのです。「歩く」ことをもう一度見直してみませんか。

万歩計をつけて、さあ、歩きましょう

漫然と歩いているのでは、エクササイズとしての効果は半減してしまいます。上体をまっすぐに保ち、ひざを伸ばして速足で歩きましょう。目標としては1日最低でもトータルで5,000歩、理想的には13,000歩。この13,000歩という数字は、アメリカの病院で障害を起こした患者にウォーキングさせた時、10,000歩では再発事例が出たが、13,000歩では出なかったことから、1日の目安がこのラインではないかといわれていることが根拠になっています。万歩計で計った1日の歩数を毎日グラフに記入するとより自分の状態がわかりやすいでしょう。

- 歩数の多い日と少ない日の差は50%以内であるか。
- 歩数は徐々に減っていないかなどがチェックポイントです。



あなたも人間ドックを 受けてみませんか

田代町国民健康保険では、健康に関する意識の高揚と、疾病の早期発見・早期治療を奨励し、疾病の重症化を防ぎ、医療費の抑制を図る目的で、人間ドック受診料の助成を実施しています。

■対象者
原則として三十歳以上の国民健康保険証の被保険者を対象とする。

(但し、農協組合員で厚生連で受けた場合は、別に農協より五千円の追加助成があります。)
●その他希望により実施している医療機関でも受診できます。
※くわしくは役場民生課国民健康保険係までおたずね下さい。
電話 五二五二一(二三五)

■助成金
●一般コース
(一人二万五千円)

●婦人コースを含めた場合
(一人三万円)

■検査機関及び検査料
(参考…一日コース)

●肝属郡医師会立病院
(三万八千四百円)

●鹿児島県厚生連健康センター
(四万二千七百四十五円)



温泉利用券をご利用下さい。

◎垂水市
・はまゆう温泉
0九九四一三二一七七七七
0九九四一三二一八二二一
J A ふれあいセンター
垂水(農協温泉)
0九九四一三二一六二七一
国民年金健康保険センター
たるみず
0九九四一三二一五三三一

場民生課国保窓口において利用券を受領してください。
●利用対象者
田代町国民健康保険被保険者で、前年度分の国民健康保険税を完納された世帯

●利用期間

平成九年四月一日～平成十年三月三十一日

●利用券
被保険者一人につき三十枚まで

●助成額
利用券一枚につき二百五十円

●契約保養所

◎吾平町
・養老の滝温泉
0九九四一五八一七七四五

◎鹿屋市

・坂元温泉
0九九四一四七一二二四四
大隅温泉ラドンセンター
0九九四一四四一六三〇〇
大平温泉
0九九四一四四一三三〇〇
ゆたか温泉
0九九四一四一七二二八



◎大根占町
・小平温泉
0九九四一三二一九一〇二五三
トロピカルガーデンかみかわ
0九九四一三二一〇三二一八
根占町
・ねじめ温泉(ネッピー館)
0九九四一四一五三〇〇
◎佐多町
・温泉保健センター
0九九四一三二一〇五一一

牛乳

湯船に1～2リットル程の牛乳を入れて入浴します。牛乳に含まれているたんぱく質が皮膚を活性化させ、余分な皮脂を分解させます。また、肌のトラブルを防ぐ効果もあります。

生姜

生姜を500g程すりおろし、しぼり汁はそのまま、残ったしぼりカスはガーゼに包んで湯船に入れます。肩凝りや痛みをやわらげてくれます。

ゆず

皮をガーゼにつつんで湯船に入れます。肩凝りや五十肩、神経痛に効果大、また、種は焼酎につけて化粧水としても利用できます。



豆知識

台所の常備品で手軽に
ホーム・スパ

どこの家庭の台所にもほぼそろっていると思われる材料で、市販のものに負けない入浴剤が作れます。
温泉のリッチな気分を家庭でも味わってみませんか。



塩

塩には体の新陳代謝を活性にすると同時に、肌の細胞を活性化させる働きがあります。浴槽にひとつかみ入れるだけで、血行をよくし、湯冷めもしにくくしてくれます。

豆知識

●年に一度は健康診断!!●

成人病の多くは自覚症状がほとんどありませんから、気付いたときにはもはや手遅れ、といったケースが少なくありません。そこで求められるのが健康診断の受診です。

★健康診断にはこんな効果があります

- ①病気の早期発見・早期治療につながる。
- ②健康状態の変化が継続的にチェックできる。
- ③仕事や生活からくる負担が、健康に与えている影響がわかる。
- ④健康に対する認識が深まり、反省材料となる。
- ⑤家族ぐるみの健康づくりに関心が高まる。
- ⑥若いときからの受診は、健やかな老後を送るための前提となる。

早期発見

健診



★健康診断を有効に受けるコツ

- ①年1回は必ず受ける
- ②「要精密検査」は必ず受診
- ③通院中でもきちんと受ける
- ④検査は毎回同じ検査機関で
- ⑤検査結果を記録・保管しておく
- ⑥結果を相談できる家庭医をもつ



ポイント



健康診断は、あなたの健康管理の強い味方となります。めんどくがらず継続して受診し、その結果を生活改善に役立ててください。

年末年始の少年非行・犯罪被害の防止

深刻化する少年非行を考える

少年非行や少年が被害に遭う犯罪が全国的に増えています。年末年始は、冬休みの解放感から少年が非行に走りやすい時期。お父さん、お母さん、なにかと忙しくなる師走ですが、お子さんに不安定な様子を感じ取ったら要注意。親子での気持ちの通い合いを図ってください。

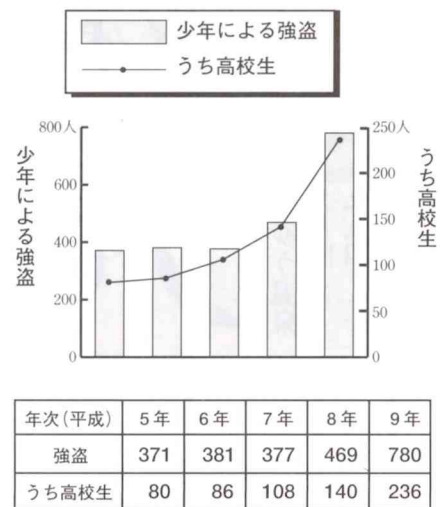
特徴は、いきなり・遊ぶ金欲しさ・模倣

少年による非行といえは、今年五月、社会に大きな衝撃を与えた中学三年生による児童殺傷事件が記憶に新しいところですが、ほかに、高校生による強盗の多発や覚せい剤乱用の増加など、少年非行は極めて深刻な状況にあります。

深刻化する少年非行の背景には、非行に対する少年たちの抵抗感・罪悪感の希薄化などが指摘されています。非行を犯した後も、その重みを感じられない少年たちが少なくないのです。

また、遊ぶ金欲しさから非行に走ったり、他の事件を真似たり、友達同士で安易に、といった点も最近の非行の特徴です。

少年による強盗事件の推移（1～6月期）



勢が必要です。さらに、小学生・中学生を中心に、少年が被害者となった犯罪も増加の傾向にあります。

警察庁では、十二月の重点課題に「年末年始における少年非行及び犯罪被害の防止」を掲げ、保護者だけでなく地域全体で子供たちを見守る社会の取り組みを求めています。



教育だより

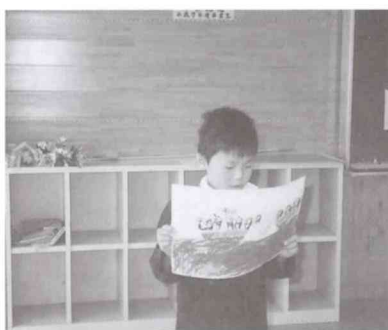
大原小学校

児童会を中心に

「文化の秋」「スポーツの秋」と言われた十一月に、二つの集会を行いました。読書集会を、図書委員会が、スポーツ集会を総務委員会が、計画・運営し、楽しく充実したものとなりました。



どのチームも力を合わせて!!



一番心に残った場面を発表

日ごろの成果を精一杯学習発表会へ

創作劇、音楽発表、そして同時に、図画工作の作品や理科で学習した記録なども展示するなど、子どもたちの成果を余す所なく発表しました。



多勢の前でも堂々と発表



6年生は「織田信長」の一生を劇に

祖父母参観



孫との給食「おいしい!!」



昔の卒業写真も展示され「なつかしい」

子どもたちは、戦争体験、昔の遊びなどを直接教えてもらううちに、物の大切さや、物事の違う見方を実感したようでした。

人口のうごき

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

平成 9 年 12 月 1 日現在

住民基本台帳		増		減		前月対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,777	3	6	0	4	5
女	1,936	1	3	3	2	△1
計	3,713	4	9	3	6	4
世帯数	1,424					△1

休日在宅当番医

月日	当番医	TEL	月日	当番医	TEL
12/28	黒木医院	6-0013	1/3	浜畑クリニック	5-2575
12/29	大根占医院	2-2658	1/4	三川内科 胃腸科	2-2033
12/30	阿久根医院	4-2100	1/11	津崎医院	4-2153
12/31	黒木内科小児科	6-0750	1/15	黒木医院	6-0013
1/1	長浜医院	2-0137	1/18	大根占医院	2-2658
1/2	肝属郡医師会立病院	2-3111	1/25	阿久根医院	4-2100

さきに御逝去されました方の御遺族より、香典返しを廃止され社会福祉協議会へ多額の寄附を賜りました。

厚くお礼申し上げますと共に御冥福をお祈りします。

中島ヨミ子 様
宮田チヨ子 様
弓指正義 様

田代町社会福祉協議会
「篤志寄付金」

国の教育ローン
年金教育資金貸付

この貸付制度は、年金積立金を原資とした還元融資の一環として、厚生年金保険及び国民年金に十年以上加入している方が入学時や在学中の教育費を低利で借りることができる制度です。

またこの貸付は、国民金融公庫の一般教育ローンとの併用もできます。

〈融資金額〉

学生・生徒一人につき
厚生年金保険加入中の方
百万円以内

国民年金加入中の方
五十万円以内

〈融資利率〉年二・五%

(平成九年十一月十日現在)

〈返済期間〉 八年以内
(据置期間は在学期間以内)

〈お申し込み・お問い合わせ先〉
(社) 鹿児島県年金住宅
福祉協会

電話〇九九二五六一六二二

若者の手で町を美しく!!

12月6日、町連合青年団がクリーン作戦を行いました。田代サッカー少年団の子どもたち約20名も参加し中央運動場を中心に、麓地区内の空き缶やちり拾いをしました。一時間ほどの活動でしたが、たくさんの方々が集まりました。今後のさらなる活動が期待されます。



青年団員と子どもたちと仲よく活動!!



たくさんのごみが集まりました

青少年健全育成をめざして



笑いの絶えることのなかった迫先生の講演

12月10日、子ども会育成者と高父母連の皆さんが参加して、青少年団体育成指導者後期研修会が開催されました。

前半は、たちね号に乗り世界一周を達成された迫正人さんに「ヨット世界一周へのチャレンジ」と題して講演をいただきました。世界一周体験を通して学んだこと、感じたことをユニモアを交えながら話されました。

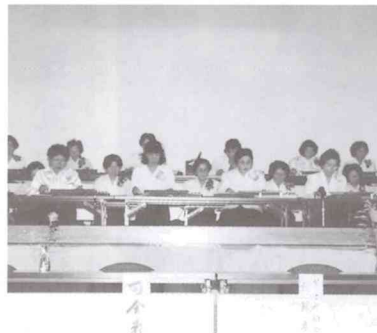
冒険や未知へのチャレンジ精神を育む青少年育成のあり方について改めて考える機会となったすばらしい講演でした。後半は、町子連と高父母連に分かれて分科会を行いました。

生活学校交流集会 本町で開催

12月12日、肝属地区交流集会が本町で開催されました。「住みよい地域づくりをめざして」をテーマとして、各市町の生活学校生が参加し、環境や福祉の問題について学習しました。午後のアトラクションでは本町中央公民館の大正琴講座生の皆さんが日頃の練習の成果を発表されました。



たくさんの意見が出された全体会



大正琴講座生によるアトラクション

人権意識の高揚をめざして



参加者がじっくり聞き入った松元先生のお話

12月3日、役場3階会議室で町人権問題講演会が開催されました。この講演会は、12月4日からの人権週間になんで開催されたもので、県人権擁護委員の松元兼俊先生を講師に迎え、「人権問題について考える」と題してお話しいただきました。

その中で、人権意識を育てるのは、幼い頃からの家庭教育であることや思いやりのある優しい言葉は、真に相手の側に立つことによって生まれること等を話されました。人権に対する認識を新たにすることができたすばらしい講演でした。

町文化協会 先進地研修視察

去る12月6日・7日、町文化協会が設立20周年を記念して先進地研修視察を行いました。加治木町にある加音ホールや牧園町のみやまコンセーラを訪れ、施設の内容や運営状況について研修し、今後の協会活動の参考としました。



加音ホール、みやまコンセーラで熱心に説明を聴きました



新しい年のはじめに「すばらしい子どもたちの幸福のために」

教育長 津曲 實雄



平成十年の新春を迎え、町民の皆様とともに、本町の益々の発展をお祈りいたします。

さて、昨年は、九年に一度の肝属地区の郡民体育大会が本町で行われた年でありました。町民がそれぞれ役割と誠意を持って、努力していただいたお陰で、大好評のうちに大会を終了することができました。そのうえ、総合第三位の成績を収めることができました。このことが起爆剤となって、小・中学校の子どもたちが、全国大会まで出場し、その力を思う存分発揮することができました。田代町内の学校の規模は小さくはなりましたが、それでも、「やればできる」と云う根性を呼びさましてくれました。その後の県下中学校駅伝大会でも、大規

模様の生徒と競い合い好成績を収めました。

また、運動面だけでなく大原中学校の国際理解教育の研究公開は、しっかりと郷土に根をおろした研究と実践を積み重ね、高い評価を受けることができました。このような両中学校の生徒の活動の素地を作ったのは、両小学校の充実した基礎教育の成果であり、ともに喜ぶとともに、新しい年への希望と夢を大きく育てていきたいものです。

青少年の教育は、学校だけでなく、家庭の強力な支援と励ましがあったることであり、各学校のPTAの皆さん方の陰の力に心から敬意を表したいと思います。

次に、今後の青少年教育の課題について、述べてみたいと思います。今学校教育は、大きく変化しつつあります。その中でも、学校におけるいじめの問題が深刻な問題となっています。物が豊かになる反面、苦しさに耐える力や弱い者に対する思いやりの心が欠如してきた結果、どこの学校でも生徒指導の大きな課題と

なっています。それでは、わたしたちは、それに対して、どう対処していけばいいのでしょうか。近年私たちの生活は、何もかも豊かになり、ほしい物がすぐ手に入る時代になってきました。その反面、自分の周りの人たちに對する思いやりの心が欠如しはじめていくように感じられてなりません。現在少子家庭が多くなり、子どもの望むものがすぐ手に入るようになった反面、心が貧しくなってしまうというような感じがします。

しかし、すべての子どもがそうかどうかはわかりませんが、いじめの時代も子どもたちの心は、美しく、宝石のようなきれいな心を秘めているすばらしい存在なのです。しかし、今子どもたちを取りまく社会の状況が変化しつつあるのではないのでしょうか。次の二十一世紀に生きる子どもたちに何を伝え、育てていけばよいのでしょうか。

自分の回りの人達に対する思いやりの心が、最も大事にされています。高齢化社会が急速に進む中で、他

人に対する思いやりの心が最も大事なことのようになっています。今学校では、きれいな花を育てたり、動物の世話を通して、生命の尊厳さを体験させておられます。

そのほか、特別老人ホームの訪問や老人家庭の訪問など、高齢者の方々と心の交流を通して、私たちの周りの人々に対する思いやりの心や、人に親切をつくすことがどれほど人の心を明るくし、感謝されるものかを初めて体験し、感動する生徒も多いようです。このような幼い子どもたちの心に残る感動体験が、これからの人生の中で生きて働く力になっていくものだと思っています。

西暦二千三年以降になりますと、学校が完全に週五日制が実施されると言われています。各家庭や地域では、次の時代を背負って立つ子どもたちに、何を体験させればよいのでしょうか。田代町の未来を描く大事な課題ですので、町民の皆さまの積極的な提言をお願いいたします。

年末・年始の新生活運動を推進しましょう

(運動の強調期間)
平成9年12月20日
平成10年1月15日

- (実施内容)
- (1) あいさつをする運動
 - (2) 国旗を掲げる運動
 - (3) 資源とエネルギーを大切にす運動
 - (4) ごみ減量化運動
 - (5) 交通ルールを守り交通事故防止に努める運動
 - (6) 身近な自然や生活環境をきれいにす運動
 - (7) 郷土の伝承文化に対する理解を深める運動
 - (8) その他の運動

平成十年 田代町成人式

とき 平成十年一月三日
受付 午前九時三〇分

開会 午前一〇時
ところ 中央公民館ホール

主な内容

- ・ オープニング(花瀬太鼓)
- ・ 灯のつどい
- ・ 式典
- ・ 町長式辞 祝辞
- ・ 新成人の主張 他

平成9年の主な出来事

- (1) 永山義盛（南松園）さん100歳の誕生日を祝う 1月15日
- (2) 田代町スタンプ会20周年記念として歌謡ショーを行う 1月18日
- (3) 大原地区消防センター完成 総事業費約1,700万円 1月27日
- (4) イメージキャラクター「でんしろ」名称決定
- (5) 大原中学校に待望のプール完成 総事業費9,038万円
- (6) 鹿児島市たしろ会10周年記念総会 150名参加 2月9日
- (7) 肝属地区青年祭が本町で開催 2月16日
- (8) 県中学校音楽コンクール「春の祭典」で田代中金賞受賞 2月16日
- (9) 瀬ノ口國雄助役、鹿児島県町村会より自治功労者で表彰 2月20日
- (10) 瀧見大橋完成。全長150m、幅員8.25m 総事業費11億3千万円、湯ノ谷義雄氏3代夫婦渡初め 3月14日



「前之園新町長初登庁」



「瀧見大橋完成、開通式」

- (11) 鶴園橋完成。総事業費1億450万円、上吹越国義氏3代夫婦渡り初め 3月30日
- (12) 農業集落排水事業（麓地区）着手 4月1日
- (13) 茶業法人組織として「（有）たしろ山茶香」発足 4月11日
- (14) 花瀬オートキャンプ場（草スキー場）オープン14サイト（うち5サイトに五右衛門風呂付き） 4月26日
- (15) 田代小学校特別教室完成 総事業費8,034万円 5月1日
- (16) 町議会議長に瀬口 勝氏就任 5月2日
- (17) 田代中剣道部、県中学校剣道大会で優勝。全国大会出場 6月1日
- (18) 「自然まると体験ツアー in 田代町」全9回開催 7月～8月

- (19) 木場忠氏、緑化推進運動功労者として内閣総理大臣賞受賞 7月
- (20) 第35回郡民体育大会、本町で開催。総合3位 6月、7月
- (21) 田代町戦没者追悼式 7月18日
- (22) 上部地区営農組合設立 7月29日
- (23) 全国和牛能力共進会最終選定審査へ
上久保文夫氏、折小野浩一氏出品 7月30日
- (24) 上柴立棒踊り伝統行事復活。肝属地区子ども会大会 8月6日
- (25) 上部地区、川原地区を新農村振興運動「重点地区」指定 9月9日
- (26) 台風19号猛威をふるう。死者3名、負傷者3名
被害総額約4億円 9月16日
- (27) 肝属郡秋季畜産共進会 上久保文夫氏所有
「いちふじ8号」5部1席入賞、県大会へ 9月25日



「いちふじ8号と上久保文夫氏」



「田代中剣道部 全国大会へ」

- (28) 田代町長及び町議会議員補欠選挙 10月19日
- (29) 町長に前之園良輝氏、町議会議員に小園一利氏当選 10月24日
- (30) 松田進町長任期満了に伴う勇退、瀬ノ口國雄助役辞任 10月26日
- (31) 田代町長に前之園良輝氏就任 10月27日
- (32) 田代町振興大会 小野ヤスシ先生講演 11月3日
- (33) 和牛登録検査で本町記録更新 上久保文夫氏所有
「いちふじ8号（87.5点）」取得 11月6日
- (34) 田代中学校県駅伝大会出場 11月14日
- (35) 田代町合同金婚式32組で開催 11月25日
- (36) 国民年金事業優良納付組織として
県知事表彰（辺志切小組合） 11月27日
- (37) 田代小学校「人権の花運動」で感謝状受賞 12月15日
- (38) チームプロジェクトF主催クリスマスクラシックコンサート 12月23日
- (39) たしろ二才の旅「スキー体験と近畿田代会との交流」 12月25日